

行き場を失った犬猫の救済と不妊去勢手術活動

特定非営利活動法人HOKKAIDOしっぽの会

特定非営利活動法人HOKKAIDOしっぽの会は、札幌市や北海道内の保健所、市役所などの自治体から収容された犬猫、多頭飼育崩壊、飼育放棄などにより行き場を失った野犬・野良猫を保護し、新しい家族へと繋ぐ活動や、動物愛護や福祉の浸透を目的とした啓発活動に尽力しています。

【活動背景】

大切な家族の一員としてのペットという認識が広く浸透してきた昨今、動物愛護の意識が高まる一方で、北海道はいまだに野犬が多く、処分方法として人道的に許しがたい事例も多くありました。また、不妊去勢手術を行われていない犬猫の多頭飼育崩壊も深刻な問題です。そうした適切な処置や飼育が施されていない犬猫は、放置しておけば数が急激に増加してしまい、行き場のない子たちが増えていくという悪循環に繋がります。

【活動目的】

行き場を失う犬猫を一匹でも減らすために不妊去勢手術を行うことで、適正な飼育が可能な飼い主に対して適正数のペットが飼育される社会を目指すことが目的です。同時並行で、動物愛護と動物福祉の啓発活動への取り組みも一層活発にしていきたいと考えています。



【助成金の用途・活動結果】

助成金は、主に不妊去勢手術のための費用、犬猫の保護時に生じる餌代・消耗品などの雑費、啓発用ポスターの制作費に活用されました。

飼い主のいない犬10頭・猫340頭、保健所から譲渡された犬猫は計153頭、多頭飼育崩壊の犬は4頭の不妊去勢手術を実施しました。保健所から譲渡された犬猫に関しては、行政が不妊去勢手術への措置を行っていない背景もあるなか、本活動は適正譲渡への指針を示すものであり、今後の活動が期待されています。

【団体からのメッセージ】

重要な活動の資金の一部にJACさまの助成金を使わせていただいたお陰で、多くの保護犬猫たちに不妊手術を実施することが出来ました。

これにより行き場を失う犬や猫を増やさない目標に尽力することが出来ました。

今後も当会の活動の理念に沿って「人と動物が共生する幸せな社会」創りに邁進してまいります。本当にありがとうございました。